

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ソフトマテリアルの自律性を支配するイオン液体の役割
研究代表者	渡邊 正義（横浜国立大学・大学院工学研究院・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者のイオン液体に関する研究業績は国際的にも高い評価を受けている。本研究では、これまでの研究の体系化、基礎固めを図るとともに、高分子とイオン液体の複合体に関して新しい分野を開こうとしている。長寿命 BZ 反応等の興味深い現象も発見されており、基礎化学的貢献も期待できる。また、現象の個別解析のみでなく、より一般化した理解を深めると、大きな波及効果も期待できる。理論家との協働も含め、様々な分野との連携による新しい展開を期待する。一部、他の研究費や研究内容の重複について懸念する意見もあったが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>